

……日本プライマリ・ケア連合学会 **家庭医療専門医** 認定試験の受験資格取得……

専攻医募集

在宅総合医療・在宅緩和医療専門医育成家庭医療プログラム

強化型在宅療養支援診療所 医療法人社団中島医院

東京都都市部と郊外の住宅街をカバーし、家庭医として外来診療等により地域医療の実践を学ぶとともに、在宅総合医療および癌末期患者の在宅緩和医療に習熟する教育を実施します。

本プログラム修了後は日本プライマリ・ケア連合学会専門医認定試験の受験資格が与えられます。

当院は癌末期患者看取り年間約102名、高齢者慢性疾患患者の看取り年間約10名、在宅癌末期患者月間診療約25名、高齢者及び難病患者在宅月間診療約50名余を対象としています(2013年7月～2014年6月30実績)。

[平成29年度募集概要]

1 応募資格

平成27年3月までの医学部卒業で医師免許を有し、かつ平成29年3月末までに初期臨床研修終了以上の者、または臨床経験2年以上の者。

2 研修期間 平成29年4月1日から3年間

3 募集人数 各年度3名

4 選考方法

(1) 書類審査 (2) 面接 (3) 筆記(医学的内容を問うものではありません)

5 試験日

(1) 応募締切：平成28年10月31日（一次募集）、二次募集については問い合わせください。
(2) 試験日：志望者の見学、面談を随時受け付け、試験日時は追って連絡します。

6 試験場所 医療法人社団中島医院 東京都清瀬市元町1-3-45

7 出願書類

(1) 履歴書
(2) 医師免許証(写し)
(3) 初期臨床研修修了書（同修了見込み者は、研修実施医療機関に在籍を証明するもの）

8 処遇

(1) 身分 常勤又は非常勤職員
(2) 給与 臨床経験年数等を勘案して決定します。通勤手当、在宅患者待機(日直・当直)手当有り
(3) 住居 住宅手当等
(4) 社会保険
①厚生年金保険 有り
②全国健康保険協会 有り
③雇用保険 有り
④労働者災害補償保険 有り
(5) 福利厚生

- ①職員健康診断 有り 春期及び秋期
- ②福利厚生施設利用 有り

【プログラム紹介】

1 専門領域 在宅総合医療・在宅緩和医療 プログラム責任医師 中島美知子

2 概要

A. プログラムを展開する地域背景および特長

当院は人口70万人(2011年1月1日現在)の東京北多摩北部医療圏に存する清瀬市の駅前に位置し、清瀬市を中心に、都内練馬区・東久留米市・西東京市・小平市・東村山市・東大和市等、また近隣埼玉県所沢市・新座市・朝霞市・志木市等、東京都一部都市部と近郊住宅地域をカバーする在宅医療の好立地に位置する。強化型在宅療養支援診療所である。

外来診療：総合内科、呼吸器科、緩和ケア内科、心療内科、アレルギー科、糖尿病内分泌科、小児科を標榜する。また、

在宅医療は：在宅総合診療、在宅緩和医療を始めて21年の蓄積をもつ。一部3世代の家族を家庭医として診療し看取りまでを行う。創立以来在宅での看取り数1156名(2016年5月現在)。

地域の中核病院である公立昭和病院、多摩北部医療センターをはじめ都内および近隣の大学病院およびがん専門病院からの紹介が多い。このような医療連携にて末期がんの在宅緩和医療から高齢者在宅医療、通院可能な人々の外来緩和ケアに人が集まっている。小児がん、特に脳腫瘍の子供たちも看取ってきた。

プログラム責任者は2000年の介護保険法はじまって以来の介護支援専門員でもあり、清瀬市の介護認定審査委員を16年間務め、現在審査委員長。清瀬市の医療・介護事業施策に参画して来ている。中島医院訪問看護、デイサービス「愛といやしの家」を運営し、医療介護の連携の中で高齢者の地域ケアも展開している。地域医療連携は役員等を務めながら積極的にすすめている。

B. プログラムの理念および研修目標

「小児から高齢者まで病む人、老いゆく人、痛みを苦しむ人々を対象とする。総合的痛みTotal Painを全人格的な側面(身体的、精神的、霊的、社会的)から苦痛緩和を実施する。在宅での看取りまでを含めた継続的かつ全家族的な健康管理および癒し」を理念とし、同時にこれの習熟が研修目標である。

身体的治療では、癌性疼痛コントロールを徹底的にマスターする。のみならず、うつ、不安、悲嘆などの心理精神的苦痛に対しては心療内科・精神腫瘍科の研修を実施。家族指向型ケアなど社会的面からの支援、特に死に直面した人間の魂の苦しみであるスピリチュアルペインへの洞察ケアも研修する。このように全人格的側面より患者、家族を支援できる医師を育成する。

C. 各ローテーション先で学べる内容と特色

在宅総合医療、在宅緩和医療専門医育成に必要な診療科をローテーションに取り入れている。

(1) 総合診療専門研修Ⅰ：医療法人社団ホスピタム聖十字会中島医院

1年を前期と後期2回に分けて研修する。外来診療は大人・子供達への予防接種や地域の特定健診、市民健診も行い、市民に対する健康講座で予防医学を指導する。市立保育園嘱託医療機関として小児健診の研修が可能。また介護認定審査会に研修医に出席し介護保健認定にかかわる医師の役割を学ぶことができる。法人下併設のデイサービス、訪問看護サービスがあり、医療と介護、看護、ケアマネジャー等との連携により地域包括ケアを学べる。

(2) 総合診療専門研修Ⅱ：独立行政法人国立病院機構東京医療センター

国立病院機構の中で最多の病床と、国内最大の規模を持つ総合診療にて、総合診療専門研修を連携実施する。EBM(Evidence based medicine)をはじめ入院型の総合内科診療を学ぶ。在宅から送った患者を入院で受け入れる側に立って在宅医療との連携の中での患者と家族を診つつ入院治療を学ぶ。

(3) 領域別研修(内科、小児科、救急)：東京都保健医療公社多摩北部医療センター

当院と密接な医療連携を日々実施している環境で研修できる。救急年間4000件以上で当院からの救急受け入れ先の一つである。二次救急を主とし、common disease も多く充実した研修が可能。内科：循環器、神経内科、消化器内科、内分泌・血液・膠原病内科等あり。地域医療第一線の研修ができる。各指導医はプログラム責任者と日常的に連携しており研修内容について細かい検討が可能。小児科は地域の診療所とのつながりが密接で、小児の日常的 common disease を多く経験できる。予防接種を通院治療中間

題のある小児におこなっており重要ポイントを学べる。特に地域の診療所の小児科医師が交代でおこなう夜間小児救急は最も勉強になるであろう。当直もしながら小児科全般について学ぶ。

(4) 選択科：在宅総合・在宅緩和医療専門医育成に必須の科目から選択可能

- ① 精神腫瘍科：埼玉医大国際総合医療センター
- ② リハビリテーション科：国立病院機構東京病院リハビリテーション科
- ③ 入院型の緩和ケア：聖路加国際病院緩和ケア科
- ④ 産婦人科：武蔵野赤十字病院産婦人科
- ⑤ 眼科・耳鼻科・外科・整形外科・皮膚科等：多摩北部医療センター

3 プログラムローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総診Ⅰ 中島医院						総診Ⅱ 国立病院機構東京医療センター					
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科 多摩北部医療センター						小児科 多摩北部医療センター			救急 多摩北部医療センター		
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	その他						総診Ⅰ 中島医院					

4 詳細、見学、その他の問い合わせ

見学随時可能です。下記担当者までお問い合わせください。

代) 042-495-6727 時間外：090-8117-1681 中島まで